

カラフル

# Colorful

Colorful(カラフル)とは、一人ひとりの違った個性(色)が発揮される社会を表しています。

## 特集

### SRHRとは？知っておこう！ わたしもあなたも大切にする 「こころ」と「からだ」のこと

国際協力 NGO ジョイセフ 浅村里紗さん インタビュー



ソロモン



ザンビア



## CONTENTS

- ・PICK UP BOOKS
- ・江戸川区からのお知らせ
- ・相談窓口のご案内



# SRHR セクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツとは？

知っておこう！わたしもあなたも大切にする「こころ」と「からだ」のこと



## 浅村里紗(あさむらりさ)さん ジョイセフ事務局長補

1984年にジョイセフに入局し、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (SRHR) 分野のプロジェクト担当を経て、SRHR教育活動の技術支援専門家としてベトナム、ニカラグア、ミャンマー、タンザニア、ザンビア、ソロモン諸島等で国内外の人材養成事業に携わってこられました。現在まで約80か国1200名余りの開発途上国の指導者への研修事業を行うほか、国内ではLADY.ピア・アクティビスト養成事業などを通して、自分、そして、誰かのためにSRHRを学ぶ講座をサポートされています。

女性、選択できる世界を。



### 国際協力NGO JOICFP(ジョイセフ)とは

ジョイセフは、世界のどこにいても、誰も(特に女性)が自分の人生を自分の意思で選択できる社会をめざし、主にセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康と権利：SRHR) を推進する、日本生まれの国際協力NGOです。国連、国際機関、現地のNGOや地域住民と連携し、アジアやアフリカ、そして日本でSRHRの啓発や保健分野の支援活動を実施しています。国連人口賞や第1回ジャパンSDGsアワードパートナーシップ賞を受賞しています。

みなさんは、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス (SRH) とその権利を意味するセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (SRHR) という言葉を聞いたことはありますか？SRHとSRHRは性別問わずすべての人の健康と幸せな人生のために必要な考え方であり、SDGs達成目標にも関連しています。SRHとSRHRについて、またこれらを巡る世界と日本の状況について国際協力NGOジョイセフの浅村里紗さんにインタビューしました。

## SRHとSRHR

——まず、SRHRとはどんなものなのか教えていただけますか？

SRH (性と生殖に関する健康) は私たちの日々の生活に関係するのみならず、人生に大きな影響を与えます。

パートナーシップ	セックス	避妊	妊娠・出産	中絶
産む産まない	性感染症	不妊	多様な性 (LGBT/SOGI)	検診・検査
月経	性教育	更年期	ジェンダー	性暴力・デートDV

SRHに含まれること ジョイセフLADY.事務局提供

図を見てもわかるように、SRHは「性に関すること」や「生殖に関わること」で、とても身近なものですね。SRHを満たすためには、「自分を大切にし、自分から行動し、自分の人生を自分で決める」ことが重要です。妊娠や出産が起こる場合、自分の意思で生き方を選択するためには性と生殖に関する自己決定権や家族計画 (避妊) を含む

正しい知識とヘルスケアを得ることが必須です。私たちは日々さまざまなことを選択しながら行動し、生活をしています。今日は寒いから何を着ようか...等々。SRHは日々の生活の中にあるべき自主性を重んじる選択肢の一つなのです。そうしたSRHを得る権利を意味するのが、SRHR。国連はSRHRを重要な人権の一つとして定義しています。

### もっと知る

SRHとSRHRについてもっと詳しく知りたい方は、右のQRコードから「知ってる？ 私のSRHR」のページをチェック！

SRHは性自認 (自分の性別をどう認識しているか) や性的指向 (恋愛や性愛の感情がどの性別に向くか・向かないか) に関わらず、すべての人の生き方に関わることです。性自認や性的指向については右のQRコードからご確認ください。



ジョイセフホームページ内「知ってる？私のSRHR」



江戸川区人権・男女共同参画情報誌カラフル1号 2020年発行

本来SRHは一人ひとりにとって「当たり前の権利」であるはずですが、日本を含め世界中の多くの女性は手に入れることができていない状況にあります。



世界のどこにいても、誰もがSRHに関する情報を入手でき、望んだときにSRHのサービスを主体的に選択できなければなりません。SRHに影響を及ぼすのは、何だと思いませんか？チェックリストに答えて、あなたはSRHが実現できる環境にいるか考えてみましょう。

のための  
**SRH** チェックリスト

あなたのSRHは・・・

- 国の法律によって左右されている？
- 教育により知ることができる？
- ジェンダーに影響されている？

あなたのSRHのため・・・

- 相談・診療・治療は気軽に受けられる？

▶▶▶▶

SRHに大きく影響を及ぼすのは、法律、教育、医療、ジェンダーの4つであると考えられます。

**法律：**SRHについての選択や知ることを大きく左右するのは国の法律です。SRHをまもるべき国の法律は充実していますか？

**教育：**SRHを知るため、包括的性教育などを受けることはできますか？

**医療：**避妊手段、不妊治療、各種健診等は高額すぎず、安心・安全に選択できますか？

**ジェンダー：**性別に応じて、どのように考え行動すべきかなどの先入観があったり他者からの圧力がかけられたりしていませんか？

——4つの視点で考えると、思ったよりもSRHを主体的に選ぶには課題があることに気づきますね。その中でも私たちがSRHを主体的に選ぶことができるようになるためには、何が必要でしょうか。

SRHは他人に決められるものではなく、「自分を大切」にし、「自分から行動」して、自分の人生を決めていける力を一人ひとりが持てなくては実現できません。そのためには、幼いときからの包括的性教育が重要です。包括的性教育には、避妊や性感染症予防から人間関係（パートナーシップ）まで幅広い要素があります。ユネスコ（国連教育科学文化機関）は、これを次の図の8つのキーコンセプトを通して、『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』で説明しています。また、これらの要素を一方向ではなく、行ったり来たりしながら学ぶプロセスを踏むことが重要です。

この「ガイダンス」では4つの年齢グループ（5～8歳、9～12歳、12～15歳、15～18歳以上）に分けられているのも特徴的です。

### 包括的性教育 8 キーコンセプト


- 1 人間関係 
- 2 価値観・人権・文化・セクシュアリティ 
- 3 ジェンダーの理解 
- 4 暴力と安全確保 
- 5 健康とウェルビーイング(幸福)のためのスキル 
- 6 人間のからだと発達 
- 7 セクシュアリティと性的行動 
- 8 性と生殖に関する健康 

国際セクシュアリティ教育ガイダンス【改訂版】(2022)をもとに作成

### もっと知る

●国際セクシュアリティ教育ガイダンス【改訂版】

ユネスコやユニセフ(国連児童基金)など、複数の国連機関や性教育の専門家協力のもと制作されたガイダンスです。2009年に初版、2022年に改訂版が発行され、国際的な性教育の指針となっています。



国際セクシュアリティ教育ガイダンスはこちら

また、包括的性教育は自分を守るためだけに行うものではありません。「自分以外の人も大切に」そして、「自分らしく人生を楽しむため」に必要なスキルの幅広い要素を説明するものです。

——「性教育」には、キーコンセプト7（セクシュアリティと性的行動）や、キーコンセプト8（性と生殖に関する健康）のようなイメージがあるためか、タブー視する風潮もありますよね。

性教育に関して幼い子どもたちにどういふふう伝えるかが、最近注目を集めていますね。子どもがプライベートパーツに関心を持つのは自然なことです。また、人とのかかわり（パートナーシップ）の考えを幼いときから理解を深めることは、将来SRHをタブー視せずに自分の考えを伝え、相手を大切にすることにつながります。ひいては避妊具を正しく使うなど、望まない妊娠や性感染症予防にもつながります。日本で包括的性教育が広まることに期待しています。

また、何か課題に直面したとき悩みを抱える前にどこに相談したらいいのか、相談窓口を「知っておく」ことも性教育

悩みを抱える前に、知っておく



と併せて重要です。大人でも、クリニックや婦人科に行くことにハードルの高さがありますよね。ジョイセフではこのような情報や気づきをより広げるため、SRHRに関するコンテンツを制作したり、協力したりしています。避妊や性感染症に対する不安、パートナーとの関係の悩み、生理に伴う症状の辛さ、自分の性別への違和感など、幅広いテーマを取り上げています。



## もっと知る

### ジョイセフ制作 SRHRコンテンツ

#### ● I LADY. CARD

誰もが気軽に、楽しく参加をし、ライフスキルを身につけることができる身近なSRHRに関するカードゲームです。質問やシーン毎に、多様な選択肢をカードで構成したものです。

詳細はこちら



#### ● ユースクリニックへのとびら

獨協大学経済学部高安ゼミが製作（ジョイセフ協力）しました。性に関する悩みについて、若い世代に向けた寄り添う回答やクリニックの情報を掲載しています。

## SRHRを巡る世界と日本の状況

### ——世界的なSRHRの状況はどうでしょうか？

世界で起きている課題としては、1日に810人の女性が妊娠出産に関する合併症で亡くなっています。そのうち94%が途上国に暮らす女性たちで、10代の少女も含まれます。

少女たちは「防ぐことができる死」で命を落としています。また、望まない妊娠の場合、周囲に相談できず自分で処置しようと、ハーブや器具を使ったり、医療の知識のない人や施設などで安全ではない方法がとられたりしている国や地域が数多くあります。

ジョイセフは、安全でない人工妊娠中絶が起こらないよう、望まない妊娠を防ぐことに注力しています。

### ——浅村さんが最近訪問された国では、具体的にどのような取り組みをされたのですか？

最近の出張国は、ザンビアです。ザンビアには「女性の健康づくりプロジェクト（総称）」があり、マタニティハウス(出産待機施設)で女性たちが安心して安全にSRHの情報や医療ケアを受けることのできる、ワンストップサービスサイトというSRHの医療と教育の拠点づくりをサポートしています。この活動は、ただ命を守るだけでなく、女性の生涯にわたる健康を守る活動です。よりよい人生のために…。この活動の中では、対象となる女性だけでなくその周囲の人(夫、女性の母親・姑や家族、地域など)も一緒にSRHRについて学んでいます。また、この拠点は地域のリーダーや保健ボランティアのみなさんによって支えられています。



目で見てわかりやすいエプロン型のSRH教材「ジョイセフ・エプロン」を保健ボランティアさんとともに制作(ザンビア)

### ——コミュニティ全体で取り組んでいるのですね。SRHについて、男性、特にお父さんたちが理解を示すまでに時間がかかるというような事例を聞くのですが、どうですか？

まさにそうだと思います。時間がかかることです。だからこそ、コミュニティ全体で取り組まなくてはならないと思います。また、国外からの支援がきっかけになると思うんですね。ただ、外から新しい考えをいきなり持ち込むのではなく、今女性が直面しているSRHの実態と課題を女性とともに把握して、その国の行政やNGO関係者、コミュニティリーダーさんをはじめ、地域のみんで改善に向けて考えるきっかけとプロセスが大事だと思います。また、男性から男性にSRHのメッセージが伝わるよう、コミュニティの保健ボランティアさんのジェンダーバランスにも配慮しています。さらに、コミュニティで起こっている小さな変化を見落とさず、コミュニティでの理解を深めるために、拠点の保健スタッフさんは丁寧に、継続的に



フィードバックしています。変化を知りフォローする仕組みは、活動に関わる人たちのモチベーションになっていくわけです。ジョイセフの活動支援期間には期限があるので、「begin from the end」といって、「最後を見据えて活動を始める」ことを大切にしています。



地域のSRHの状況をコミュニティリーダーさんと話し合い、地域ぐるみで考える(ザンビア)

——日本のSRHRの現状についてどのような課題があるかお聞きできればと思います。浅村さんはどう思われますか？

日本は、包括的性教育への取り組み、避妊手段や緊急避妊薬へのアクセスをはじめ多くのSRHRの課題を抱えています。今日は子宮頸がんについてお話したいと思います。

日本では年間約1.1万人が子宮頸がん罹患していて、約2,900人が亡くなっている現実があります(国立がん研究センター2020年データ)。これは、1日約8人が子宮頸がんによって亡くなっているということです。この死は予防できることなのだと、どれだけの方がご存知なのだろうと考えます。子宮頸がんの患者は20代後半から40代が多く、若年化が進んでいます。日々の忙しさから検診に行けない人が多く、ほかの国と比べると日本は著しく子宮頸がんに関する状況が悪いのです。

日本の状況が悪い要因としては3点考えられます。1点目は予防接種、HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)の接種率の低さです。副反応についてメディアで大々的に報道されるようになった2013年以降、途端にガタッと接種率が下がっています。2点目は43.7%という検診受診率

の低さです。アメリカ、ドイツ、フランスは70%を超えています(OECD-2019年データ)。3点目は、日本の課題でもある包括的性教育が不足している点です。HPVは女性特有の子宮頸がんや外陰がんだけでなく、男性に多い咽頭がんや肛門がん、直腸がん、陰茎がんの原因となることも分かっており、また、性感染症である尖圭コンジローマの予防にもなるため、男性のHPVワクチン接種が推奨されます。HPVワクチン接種率はG7の中ではワースト1位、G20だとワースト5位です。現在9年ぶりにワクチンの接種推奨が再開しているので、ジョイセフは、国際協力で培った経験をもとに、国内でもI LADY. という若い人たちを巻き込んだ啓発活動をしています。



### もっと知る

HPVワクチンの積極的接種勧奨は令和3年11月より再開されています。江戸川区では、令和4年度より接種対象者の方に予診票をお送りしています。詳しくは江戸川区ホームページをご覧ください。



詳細はこちら

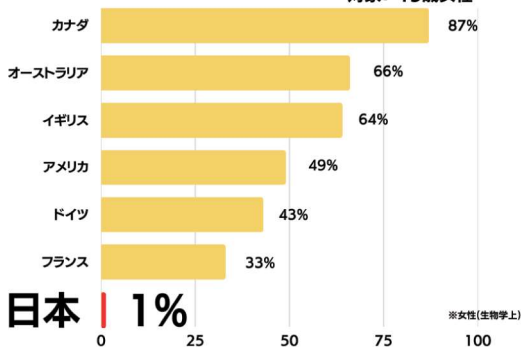
### 私たちにできること

——SRHRに関して、私たち一人ひとりがちょっとした心がけでできることってどんなことでしょうか。また、浅村さんご自身が何かしていることはありますか？

SRHRや性についての話を、タブーではなく、もっと話してもよいこととして周りに広げていけるとよいと思っています。ぜひ身近に感じること、経験したこと、疑問に思うことなどを隣の人と話題にしてみませんか？また、一人ひとりが性を話題にして「なんか日本おかしいよね」「世界のこと大変だよね、どうにかしなきゃね」と発言し、法律や制度を作っている人たちに向かって、アドボカシー(公的な変化を求め行う運動のこと)することも一人ひとりにできることです。あとは、近くにあるクリニックを調べて「こういうことがあったらここに連絡すればいい」という自分のSRH連絡先帳を作るとか。もし子どもがいたら、相談先や年齢に合わせて必要な情報を調べるといったことは、自分のためだけでなく、友人とも共有できていいと思います。

### HPVワクチン接種率(2020年)

対象: 15歳女性\*



WHO, [HPV immunization coverage estimates among 15 years old girls (performance of the programme in the previous calendar year based on target age group in the national schedule is used as a proxy)].  
 <https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/girls-aged-15-years-old-that-received-the-recommended-doses-of-hpv-vaccine>. (最終アクセス: 2023年1月18日)より作成





——最後に、浅村さんから読者のみなさんにメッセージをお願いします。

先ほどもお話したように、隣の人とSRHに関連することを少し話題にするだけでも変わってくることがあると思います。SRHRを知り、自分を大切に、自ら行動し、自分の人生を自分で決められることが容易にできる社会をみんなで作っていききたいですね。また、世界はどんな状況なのだろうか...?少し調べて思いをはせて、家族や友

人とほんの少し話題にしてみてもいいでしょうか。是非その際はジョイセフのホームページを覗いてみてください。

最後に、日本がSRHRにやさしい国になっていくためには、私たちが声を挙げていく必要があります。「自分には関係ない」ではなく、「個人的なことは政治的なことである」と、自分と結びついていると知ることが必要だと思います。だからみなさん、選挙にいきましょう！

## あなたもアクションできる！ JOICFPの取り組み

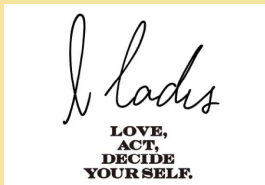


ジョイセフでは、ILADYという若い人たちを巻き込んだ啓発活動をしています。ILADYは「自分を大切に、自分から行動し、自分の人生を自分で決める」というSRHRにとって重要な価値観、「Love, Act, Decide Yourself」の頭文字から来



▲ピアアクティビストの活動の様子

ています。ILADYでは、ピア・アクティビスト(SRHRについて周囲に広げていく30歳以下の活動家)の養成をしています。



ピア・アクティビストの活動紹介はこちら

2021年の国際人権デーには30歳未満の若者によるアドボカシーを目的として「SRHRユースアライアンス」が発足し、昨年10月25日にはこの若者グループが主体となって若者×国会議員×官僚で男女共同参画の第五次計画についてオープンディスカッションを行いました。



▲SRHRユースアライアンス

SRHRに関わるきっかけづくりの一つとしては、ピンキーリングのようなチャリティーグッズのプロデュースをしています。



▲チャリティピンキーリング

豊富なカラーパリエーションのリングそれぞれに、女の子をエンパワーする意味を込めています。こういったものを身に着けながら、性についてタブーではなく話せるようになるといいですね。

また、毎年3月には「ホワイトリボンラン」というチャリティーランイベントも全国で開催されています。走ることでSRHRの課題にアンテナを張ることができます。



▲ホワイトリボンランの様子

SRHRについて知り、アクションを起こしていくには、イベント参加を始めとして、さまざまなかたちでの関わり方があります。自分にとって関わりやすいかたちで、アクションを起こしていけるとよいですね。

女性。選択できる世界を。

JOICFP



JOICFPホームページはこちら





## 『だいたいだいたいどこだ?』

(遠見才希子(えんみさきこ) 大泉書店 2021年)

私たちは、からだについて自己決定権を持っています。自分のからだについて自分の意思が尊重され、どうしたいのかが自分で決められる権利です。この絵本でも、「自分のからだは自分のもの」であり、「自分のからだも気持ちもだいたい」ということが伝えられます。自分のからだのことを自由に決めていいのだと再認識させられます。また、説明がわかりやすい上に文章はひらがなで書かれているので、小さな子どもから大人まで幅広い世代の人が読みやすい1冊です。性教育のはじめの一歩として、読んでみませんか？

## 『親子で考えるから楽しい! 世界で学ばれている性教育』

(上村彰子(かみむらあきこ) 構成/文 田代美江子(たしろみえこ)/監修 大久保ヒロミ(おおくぼひろみ)/まんが&イラスト 講談社 2022年)

子どもへの性教育で悩んでいませんか? 「性教育って何を教えるべきなの?」「何歳から始めるべき?」など、悩みはつきませんよね。ユネスコ著の『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』をもとに書かれたこの本には、保護者と子ども自身に向けた具体的なアドバイスが満載です。保護者向けには、子どもの年齢に応じてどのような言葉で何を教えるべきかなど具体的な方法が。子ども向けには、成長過程で抱える悩みに寄り添う優しい言葉が書いてあります。悩みが解決するこの本で、性教育デビューしませんか?



毎月の無料講座・イベントの情報を  
お届け & 配信中!  
フォローして、ぜひ講座にご参加を!



Facebook



Instagram



Twitter



YouTube



メールマガジン



## 江戸川区からのお知らせ

江戸川区は、江戸川区男女共同参画推進計画に基づき、全庁を挙げて男女共同参画の推進に取り組んでいます。計画の内容等について、区ホームページで閲覧できます。



江戸川区男女共同参画推進計画



人権・男女共同参画推進キャラクター  
ハビらん



江戸川区ホームページはこちら



# 人権・DV・配偶者暴力の相談窓口のご案内

※相談日は祝日・年末年始を除きます

## 人権について

### ◆みんなの人権110番 (全国共通人権相談ダイヤル)

☎0570-003-110 (ナビダイヤル)

相談日 月～金 8:30～17:15

### ◆Tokyo LGBT相談

#### 電話相談

☎050-3647-1448

相談日 火曜日・金曜日 18:00～22:00

#### LINE相談 (LGBT相談@東京)

相談日 月曜日・水曜日・木曜日  
17:00～22:00



## DV・配偶者暴力について

### ◆江戸川区配偶者暴力相談支援センター

☎03-5662-1526

対象 区内在住、在勤、在学の方

相談日 月～金 9:00～17:00

### ◆江戸川区DV相談室

☎03-6638-8537 (DV相談専用電話)

\*面接相談(女性のみ、予約制)もできます。

対象 区内在住、在勤、在学の方

相談日 月～金 9:00～17:00 (最終受付は16:00)

## 親子のかかわりや子育ての悩みについて

### ◆子ゴコロ・親ゴコロ相談@東京



# 人権・男女共同参画推進センターのご案内

※相談日は祝日・年末年始を除きます

## 大人のなんでも相談

夫婦・親子の問題などの解決に向け、ご相談の内容に応じて適切な窓口を紹介いたします。  
法的な判断を必要とする問題に対し弁護士が助言や情報提供をします。

受付時間 月～金・第3土曜日 8:30～17:00

### ◆法律相談(予約制)

#### 「LGBTQ」、「離婚・DV等」の法律相談

対象 区内在住、在勤、在学の方

概要 面接・オンライン相談 週3回 1回1時間

相談日 ホームページで詳細をお確かめください。

#### 女性弁護士による法律相談

概要 面接・オンライン相談 1回30分

相談日 毎月第3土曜日 13:30～16:30

予約受付 当月1日午前8時30分からとなります。  
閉庁日と重なった場合は、翌開庁日からとなります。

お問い合わせ

児童家庭課相談係 ☎03-6231-8150

### ◆ひとり親家庭の貸付金・自立支援事業

ひとり親家庭の就学支援・就職・転宅などの資金の融資や、経済的な自立に向け資格を取得する際に要する費用の助成(児童扶養手当受給者等が対象)などの相談に応じます。

お問い合わせ 児童家庭課相談係 ☎03-6231-8150

### ◆ひとり親相談室すずらん

☎03-6638-8085

子育てや生活に関する内容から就業紹介まで、専門の相談員がワンストップで相談に応じます。

相談日 月～金・第3土曜日 9:00～17:00



## 同性パートナー関係申出書(予約制)

同性パートナー関係のお二人からの申出書を受領し、カード型の受領証を交付しています。

予約受付 月～金 8:30～17:00

お問い合わせ 総務課人権啓発係 ☎03-6638-8089



### 人権・男女共同参画推進センター

所在地 瑞江2-9-15

